

滋賀で新しくアートプロジェクトが始動します！

2021年秋に近江鉄道沿線で開催されるアートプロジェクト「びわ湖・アーティスト・みんなぐるぐる2021『ガチャ・コン音楽祭』」(プロジェクトディレクター・野村誠)と一緒に地域の魅力や文化を掘り下げ、人・出来事・場をつなぐ仕組みを3回の講座に参加しながら学びます。講師は、すでに地域の魅力を掘り起こし独自の手法で活動、発信をしているクリエイター・アーティストたち。新しい視点で地域の魅力に気づき、最後にはそこから生まれるアイデアを形にすることを目標にしています。

*「ぐるぐる」とは 冠名にある「みんなぐる」(mingle=人と交わる、話をする)の「みんなでアートプロジェクトを仕掛ける共犯者(ぐる)になろう!」というメッセージから付けられた名称です。「ぐるぐる」と輪になって一緒に考える」や近江鉄道沿線を「ぐるぐる周遊しながら出会う」という意味が込められています。

応募締切：2021年7月11日(日)

キックオフ
トークイベント

2021年6月12日(土) 14時-16時

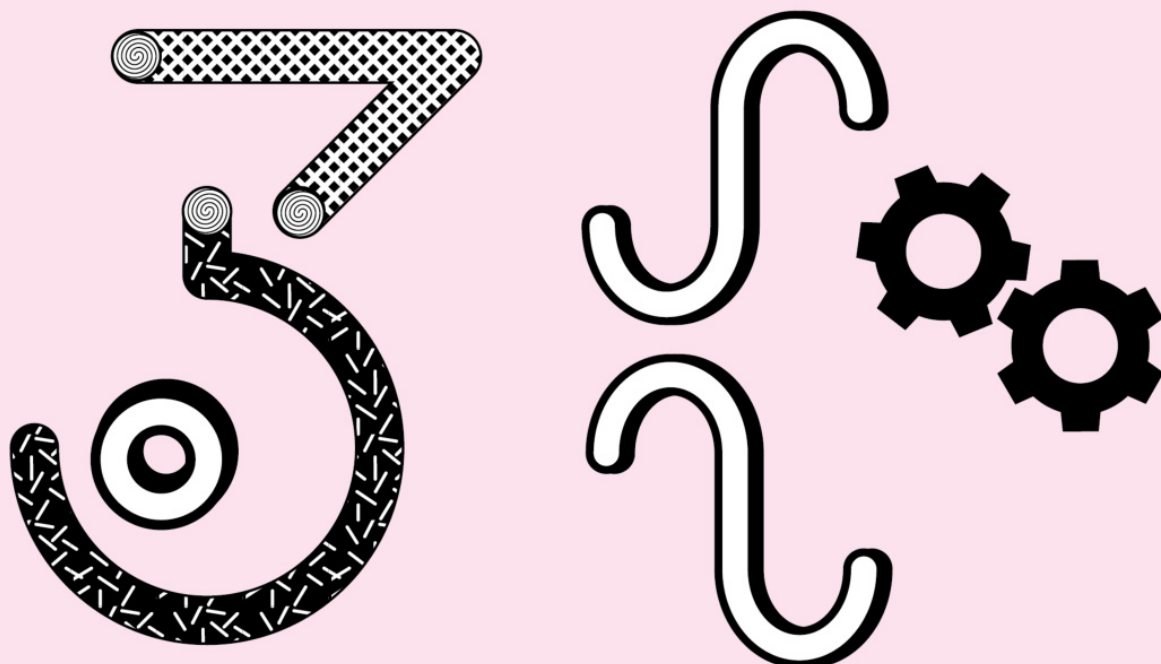
出演 |
トム・ヴィンセント
(株式会社トルーパーネットワークス代表取締役)

野村 誠
(作曲家、「びわ湖・アーティスト・みんなぐる2021『ガチャ・コン音楽祭』」プロジェクトディレクター)

場 所 | 日野駅 観光案内交流施設なないろ
(滋賀県蒲生郡日野町内池894)

参加費 | 無料
対 象 | どなたでもご参加いただけます

まずは
キックオフに
参加して、詳細を
チェック!



キックオフイベント

6月12日(土) 14時-16時

出演 | トム・ヴィンセント (株式会社トノルネットワークス代表取締役)

野村 誠 (作曲家、「びわ湖・アーティスト・みんぐる」2021「ガチャ・コン音楽祭」プロジェクトディレクター)

場所 | 日野駅 観光案内交流施設でない(滋賀県蒲生郡日野町内池894) 参加費 | 無料
定員 | 20名 申込方法 | 参加者全員の氏名、電話番号をメールで左記問合せ先にお送りください。 申込締切 | 6月10日(木) 対象 | どなたでもご参加いただけます

この秋、近江鉄道沿線で開催される「びわ湖・アーティスト・みんぐる 2021『ガチャ・コン音楽祭』」は、沿線に残る滋賀の原風景をステージに繰り広げる、音楽をメインとする広域アートプロジェクトです。本プロジェクトのディレクター野村誠と、全国の企業や地域プロジェクトのコンサルティングに携わってきたトム・ヴィンセント氏が、コロナ禍のこと、地方での暮らしのこと、イギリスと日本のことなど様々な角度から本プロジェクトについて意見交換します。皆さんの日ごろの妄想を現実にするプロジェクト第1日目、キックオフミーティングです。



トム ヴィンセント
Tom Vincent

イギリスロンドン生まれ。近江商人発祥地である滋賀県蒲生郡日野町の築240年の旧近江商人宅を本拠地とし、企業や政府、自治体のコンセプト戦略づくりから、ブランディング、プロモーション及びメディアやコンテンツの制作などを行っている。クラフトビール会社「HinoBrewing」で日野の老舗酒屋六代目と日野在住ボラード人プラウマイスターと共同経営。



野村 誠

1968年愛知県生まれ。京都大学理学部卒。作曲家として、オーケストラ、ガムラン、和楽器、ロックバンド、日用品、瓦など、様々な楽器編成のために作曲し、世界24カ国で作品を発表。また、お年寄りから子どもまで、プロ・アマチュア問わず幅広く共同作曲を実践。日英共同の「ホエール・トーン・オペラ」監修、「千住だじゃれ音楽祭」音楽監督など、国内外で数多くのコミュニティプログラムを成功させる。2006年度NHK教育テレビ「あいで」番組監修。日本相撲協会芸術家協議会理事、日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラムディレクター。

「びわ湖・アーティスト・みんぐる 2021『ガチャ・コン音楽祭』」

実施時期 | 2021年6月~10月 実施場所 | 近江鉄道および沿線地域
実施内容 | 1. 地域コーディネーター「ぐるぐる」の育成講座とネットワークづくり
2. 近江鉄道アートプロジェクト (鉄道ツアーライブ、車内放送歌合戦ほか)
3. アートプロジェクトの実施報告と評価「文化ビジネス塾」
プロジェクトディレクター | 野村誠 プロジェクトコーディネーター | 野田智子、永尾久美
後援 | 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会、滋賀県教育委員会【予定】 協力 | 近江鉄道株式会社 文化で滋賀を元気に!
主催 | (公財)びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀



WEBサイト <https://biwako-arts.or.jp/rd/about/minguru> @biwako_a_mingle biwako.a.mingle

地域コーディネーター“ぐるぐる”育成講座
参加者募集要項

定員

10名程度 (応募多数の場合は選考あり)

参加費

無料 (講座の開催会場までの移動交通費などは参加者負担)

対象 こんな人にオススメ!

- ・まちづくりや地域の活動に携わっている方、興味のある方
- ・自分の住む地域の魅力をさらに深めたい方
- ・アート、デザイン、編集などクリエイティブな活動に興味のある方
- ・地域コーディネーター、イベントディレクター、アートマネージャーなどをめざす方

参加条件

18歳以上で第1回~3回の講座にできるだけ参加可能な方を優先

申込方法

氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号・メールアドレス・職業(学生の場合は学校名、専攻分野)・志望動機、参加可能な講座を下記QRコードの応募フォームに入力のうえ、送信してください。お申し込みいただいた方には、主催者からご連絡いたします。



応募締切日

7月11日(日)

問合せ先

(公財)びわ湖芸術文化財団 法人本部地域創造部
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール内
電話 | 077-523-7146 メール | biwako-a-mingle33@biwako-arts.or.jp

お願い

参加される方はマスク着用と検温等へのご協力をお願いします。体調が優れない方は、ご来場をお控えください。感染症予防対策をはじめ、やむを得ない事情により、内容の変更または中止になる場合があります。

第1回講座 トーク・ワークショップ
「かたちの観察・観察のかたち」

7月24日(土) 14時-16時

場所 | ギャラリー&カフェ école (東近江市八日市 清水2-11-8「新八日市」駅から徒歩2分)

講師 | 藤野 裕美子 (美術作家)
合いの手 | 野村 誠

過疎地や空き家などのリサーチで見つけた家財道具や植物などのモチーフをつなぎ合わせ、時間や場所が混在するような絵画制作をしてきた藤野裕美子氏。日常の中にある何気ない形、見落としそうな景色に目を向ける、アーティストの「視点」についてお話しいただいた後、実際に「かたち」を描く体験を行います。



藤野 裕美子

1988年滋賀県生まれ。2013年京都精華大学大学院芸術研究科修了。主な展覧会に瀬戸内国際芸術祭2019(香川)、滋賀近美アートのスポットプロジェクトVol.3 エンドレス・ミトス(滋賀)、日々の観察者 Observers of Everyday Life(京都)、ARTISTS' FAIR KYOTO 2021(京都)、飛鳥アートヴィレッジ2017(奈良)、過去の滞在/個展 Gallery Den mym(京都)、2012年にアーティスト・イン・レジデンス「L'art dans les Cités」に参加(フランス)。現在、共同アトリエ Soil を拠点に作品制作をおこなう。

第2回講座 トーク・映像鑑賞
「うつつ／みる／対話」

8月22日(日) 14時-16時

場所 | ギャラリー喫茶 おとくら (彦根市高宮町1121「高宮」駅から徒歩5分)

講師 | 長岡 野亜 (映像作家、映画監督)
合いの手 | 野村 誠

映像を通して広がる対話、場・出来事づくりの方法を、ドキュメンタリー映画制作の観点、さらには代表として運営している「おうみ映像ラボ」の活動の中からお話しいただきます。実際に地域が写された映像を鑑賞し、そこからどんな話が広がるのか、またどんな場・出来事づくりの可能性があるのかを共に考えます。



長岡 野亜

京都府生まれ。2001年よりドキュメンタリー映画を作り始める。2006年から各地でドキュメンタリー映像制作講座等の映像プロジェクトを実施し、2014年から「おうみ映像ラボ」代表。滋賀県近江八幡市の農村を舞台にした映画「ほんがら」(2008):第14回平和・協同ジャーナリスト基金・審査委員特別賞(新人賞)等受賞。滋賀県発市民制作映画「結い魂」(2011):「2011文化で滋賀を元気に!賞」地域映画文化賞受賞。「おうみ映像ラボ」:「2017文化で滋賀を元気に!賞」映像を未来につなぐ文化賞受賞。

第3回講座 トーク・フィールドワーク
「風景のそれぞれ」

9月5日(日) 14時-16時

場所 | 未定(決まり次第ご連絡いたします)
講師 | 野田 幸江 (ハナノエ店主、現代美術家)
合いの手 | 野村 誠

植物による空間づくりや、身の回りにある草花を組み合わせた作品づくりを行う野田幸江氏。会場周辺を散歩しながら、野花などを眺めたり摘んだりしつつ、それぞれの風景や暮らしについて参加者を変えた対話を行います。



野田 幸江

1978年滋賀県生まれ。1999年より絵画制作を始め発表を行うとともに、甲賀市で家業である花屋を営みながら植物による空間づくりや造形の制作、風景について創作を行うなど様々な場面に植物を添えている。
2010~2018年「BIWAKO ビンナーレ」他、東京などで個展・グループ展多数、ARTISTS' FAIR KYOTO 2021最優秀賞受賞。

■ 地域コーディネーターの役割とは?

地域イベントやアートプロジェクトを裏で支える地域コーディネーター。講座とは別に勉強会を兼ねた「ガチャ・コン音楽祭」での作品づくりのサポート、広報活動、イベント運営など実践的な場で活動していただきます。(※勉強会の日時・活動場所・頻度などは参加者メンバーと相談の上決定いたします)

■ “ぐるぐる”に参加するとどんなことができるの?

地域コーディネーター“ぐるぐる”の成果物として、参加メンバーのアイデアやスキルを活かし、地域の魅力や地域の新たな視点が詰まった本プロジェクトの記録冊、または新たな企画や関連イベントの開催など、ここで生まれたアイデアをアウトプットするまでの過程を手助けします。